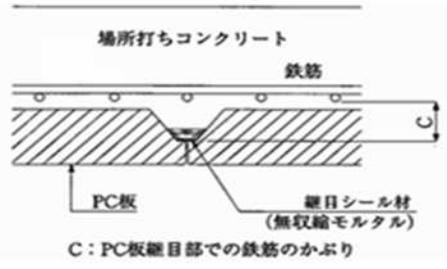


| | | |
|---|---------|-----------------|
| | | 【修正日】令和3年10月20日 |
| 【大分類】設計一般 | 【小分類】桁橋 | 【作成日】平成20年4月1日 |
| <p>【Q-2】</p> <p>コンポ橋の場所打ち床版部における下面側鉄筋の最小かぶり、PC板の継目部においても確保できているか。</p> | | |

【キーワード】 PCコンポ橋, 場所打ち床版部, 下面側鉄筋, 最小かぶり

【A-2】

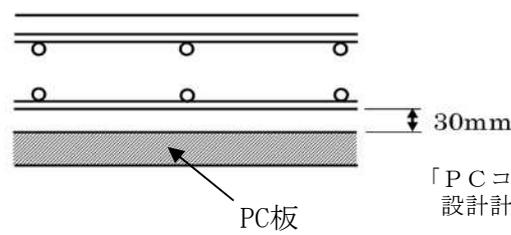
道路橋示方書Ⅲ5.2.3によると「最小かぶり厚は30mm」である。PC板継目部での場所打ち床版部の寸法C(図-1)の値を30mm以上とることによりかぶり厚を確保している。



C: PC板継目部での鉄筋のかぶり

図-1 PC板継目部での鉄筋かぶり

なお、「PCコンポ橋 設計・施工の手引き」[改訂版]では、13mmの組立て筋をPC板の上に配置することを想定し、モルタルや骨材の一部がまわるように、下縁鉄筋の中心からPC板までの距離を20mmとしていたが、「PCコンポ橋の設計計算例」では、道路橋示方書への準拠を原則とした(【A-1】参照)ことから、PC板から場所打ち床版の下筋までのあき(図-2)を、道路橋示方書Ⅲ5.2.3の「床版の最小かぶり30mm」を遵守することとした。



30mm

PC板

「PCコンポ橋の設計計算例」の場合

図-2 PC板から場所打ち床版の下筋までのあき

【参考文献】

PCコンポ橋 設計・施工の手引き[改訂版]:(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会(平成19年5月)

PCコンポ橋の設計計算例:(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会(令和3年1月)